

みなとまち大航海プロジェクト

【気仙沼市の課題】

防災面

「災害時の住民による率先避難、徒歩避難に対する意識が低い」

→ 普段から歩く習慣をつける、避難経路を自分の足で歩く

「避難所の位置、避難経路を示すものがない」

→ 目に入りやすい位置の看板の設置

「身近に防災について考える機会が少ない」

→ 防災に触れる機会を作る

観光面

「車で訪れ、観光する人が多い」

→ 商業施設を素通りしてしまいがち

「海沿いに整備されている観光施設にあまり立ち寄ってもらえない」

「外から来た人は気仙沼市の防災についてはわからない」

→ 気仙沼市の掲げる災害死ゼロのまちという目標に観光客も含まれている

【展望】

「気仙沼市に住む人も観光客もまちを歩く」

- ・防災面の課題解決
- ・観光面の課題解決
- ・まちに活気を与える

気仙沼市に住んでいる人も観光に来た人たちも安心して楽しく歩けるまちにしたい！

【解決するために】

- ・自然と目に入る位置に防災という要素をつくる
- ・まちを歩きたいと思える仕組みを作る

ぜひ歩いてみてほしい内湾の風景



内湾に停泊中の遠洋漁業船



海の市



建設途中のエースポート

気仙沼市の現在

内湾では震災復興が進み、ハード面での整備が整いつつあります。商業施設が次々にオープンし始めています。自分の足で歩きながら観光し、より多くの店に立ち寄ってほしいです。

また、遠洋漁業船が停泊している港の風景や潮風を実際に歩いて肌で感じてほしいです。

【アイデア】 気仙沼市全体でシェア傘をしよう！！

・**気仙沼市内で大漁旗デザインの傘(天候を選ばないもの)を貸し出し**
→大漁旗の柄でまちを明るくする

・**貸し出しスポットに防災情報(防災看板を設置)**
→借りる時に自然と目に入る、観光客にも防災について触れてもらう

気仙沼市危機管理課の協力のもと作成した
防災看板サンプル
過去の浸水域や、近隣の一時避難場所
などの防災情報を記載。



・**既存の気仙沼のシステムであるクルーカードと連携**
→傘を借りることでポイント追加&貸し出しの簡易化

クルーカード

気仙沼を大きな船と見立てて会員を乗組員(クルー)とする。加盟店で利用できるカードで、100円で1ポイント貯まり、1ポイント1円として使える。利用期限が過ぎるとポイントは気仙沼市に寄付される。



大漁旗デザイン傘

デザインはjp.pinterest.com の画像使用
Microsoft ペイント3Dで合成作成